

## 自治振興会で取り組む地域課題

### 先例地の事例から

市が提案している自治振興会。昨年の秋から、地域区長会などで説明させていただいていますが、具体的な事例から学びたいと、市区長連合会や一部の地域区長会では先例地視察にも取り組んでいただきました。今月号では、先例地の中から広域コミュニティが地域課題の解決や、そこに暮らす人々の自己実現につながる地域活動の一部をご紹介します。

#### みんなが便利、みんなのお店

「京都府南丹市美山町「大野自治振興会」」

昔なら地域に一つや二つはあった小売店。大型店の進出で閉店が続き、近所で済ませられた買い物も、車やバスに乗って行かなくてはならない地域もあります。

こうした状況は、甲賀市も例外ではなく、コンビニもない地域からは、若い人もいなくなるなど、地域課題として新たな取り組みが必要となっています。

そうした中、京都府内には地域自らが立ち上がり、お店を開業された地域があります。

9集落で組織される大野自治振興会。この地域では、徒歩や自転車で行けるお店がありませんでした。

そこで、同地域では、地域のみなが便利に利用できる「みんなのお店」を提案、地域住民の出資により商店「大野屋」が誕生しました。

ここでは、日用雑貨、生鮮食料品、地元産野菜や加工品、農業生産資材などが販売されています。地域の方からは、自分たちの暮らしに必要なものが気軽に安く買えるとおって大変喜ばれています。

また、季節限定の地元の特産品なども販売され、遠方からわざわざ買いに来られるお客さんもおられ、地域の活性化にもつながっています。



▲地域で運営される商店

#### 地域で子育て、健全な育成を願って

「島根県雲南市・住民自主組織「海潮地区振興会」」

少子化、核家族化など子どもを取り巻く環境が大きく変わってきている現在、地域の支えあいで、地域の子どもを育てよつとされる場所もあります。

海潮地区振興会では、運営費用の一部を振興会が負担し、認可外保育所「うしおっ子ランド」を運営しています。ここでは、隣接の幼稚園が終わる午後2時から午後6時まで、月ぎめや一時保育を合わせ、10人ほどの園児を預かっています。

顔見知りの地域ボランティアの皆さんにより、地域の子ども一人ひとりの細かなニーズに対応した、地域ならではの保育所です。

今回、紹介させていただいた事例は、今、市が提案をさせていただいている自治振興会の先例地での取り組みです。当市でも区・自治会・町内会の取り組みに加えて、より一まわり大きなコミュニティも組織することで、今までできなかったことが可能になります。

市では、今後こうした具体的な事例も紹介させていただきながら、各地域で説明会の開催を予定しています。

また、区や自治会、各種団体などを単位とした説明会にも「要望」に応じてお伺いしますので、ご連絡ください。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室 ☎ 65-0687 ☎ 63-4554

## 新型インフルエンザ対策本部を解散

市では、昨年4月28日にWHO(世界保健機関)が、新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ4へ移行したことを受け、市民の皆さんの生活・健康についての安心・安全を確保することを目的に「甲賀市新型インフルエンザ対策本部」をいち早く設置し、最新の情報提供や相談窓口の開設、またワクチン接種では県下に先駆けて一部助成を決定するなど、速やかな対策に取り組んできました。

この間、市内では小中学生・園児の43%になる5,048名が感染し28校・30園で臨時休業となりました。その後、3月上旬に甲賀保健所管内の定点医療機関における1週間のインフルエンザ平均患者数が1.0人を下回り、同月下旬には0人、さらに4月、新しい学年が始まった学校などでも新たな発生の報告はありません。

このように新型インフルエンザの流行が沈静化していることから、「甲賀市新型インフルエンザ対策本部」を解散することにしました。今後は、最新の情報収集や市民の皆さんへの情報提供、感染予防啓発などについて「甲賀市新型インフルエンザ対策会議」を設置して、引き続き取り組んでいきます。

今後も新型インフルエンザだけでなく他の感染症予防のために、引き続き手洗い・うがいを励行し、健康管理にお努めください。

問い合わせ 危機管理課 危機管理対策係 ☎ 65-0733 ☎ 63-4619

### 滋賀県の電話

ひとりでも悩まないでかけてみませんか、話すだけでこころがなごむものです。

自殺予防相談電話

☎ 077-553-7387

金・土曜日 18時～22時、日曜日 14時～22時